

まさか、自分の人生で、こんな短期間に「熊本地震」や「新型コロナウイルス」といった歴史に残るような災害に2度も見舞われるとは思ってもみませんでした。…皆さんも同じように感じておられることでしょうか。

「外出を控え、みんなが家から出ないことが感染拡大を防ぐ最良の手段」ということで「ステイホーム」が叫ばれています。保育園でも5月いっぱいまで登園自粛をお願いすることになりそうです。

「登園自粛」はお願いしていますが、社会生活を維持する上で必要な業種の方々を支えるために保育園は「全面休園」にはしていません。

こうしたなかで、私たち保育者は今、なにをしたらよいか、また「これからの保育の在り方」についてあれこれ考えています。

地震のときも心配事や不安はありましたが、先の見通しがつけやすかったこともあり、すべきことが分かって動きやすかったように思います。しかし、今回の新型コロナウイルスは、先の見通しがつかず、第2波、第3波と今後も感染拡大の波がやってくるのが予想されるなかで、保育や子育てにおいて、とても重要な手立てを封じられたままで、どう保育していけばいいのか、頭を痛めています。

気持ちを通じ合わせるためには、相手の表情をみるのが大切なのに、マスクで顔を隠さなくてはなりません。

新型コロナウイルス予防のために念入りにあちこち消毒し、しょっちゅう手洗いをしますが、そのせいで、その他の雑菌に対する抵抗力まで弱くなってしまわないのでしょうか？

「身体的接触をできる限り控えなくてはならない」とされていますが、子どもたちにとって、情緒の安定、健全な心身の育ちにスキンシップは欠かせません。特に0～1歳などの小さい子の場合、食事、着脱、排せつ、抱っこ、おんぶ、などなど1日の大半が濃厚接触にならざるを得ません。

みんなで集まって遊んだり、話し合いをしたり、楽しくおしゃべりしたりしながら一緒に食事するなどのさまざまな集団活動が、感染拡大につながるかもしれないという不安もあります。

おうちの方々と一緒に楽しみにしてきた様々な行事の在り方についても考え直さなくてはなりません。

これまで大事にしてきたことの代わりに手立てをどうしていけばいいのか…

教育現場では、インターネット等を使ったオンライン授業などの試みがなされています。当園でも、簡単なメッセージ等はYouTubeを使って動画を配信するなど新たな試みにも挑戦しています。しかし、どうしても限界が見えてしまいます。

やはり、保育(子育て)という営みに、身体的接触や集団活動は必要不可欠であり、非常に重要なものであるということをあらためて感じています。

保育の再開に向けて、密にならないような手立てを具体的に考えていかななくてはなりません。せめてこれを機に、ただでさえ欧州に比べて低い日本の基準を大幅に見直してもらえたらいいなと思っています。

- 保育士の配置基準 現行では、保育士1人に対して、0歳児であれば3人、1・2歳児なら6人、3歳児では20人(場合により15人)、4・5歳児になると30人 → せめて、0歳児なら2人まで、1.2歳児なら4人まで、3歳以上児も、保育士1人の受け持ち数は、せいぜい6～7人ぐらいまでに…。
- 面積基準 現行では、乳児室(0・1歳児):1.65㎡/1人 ほふく室:3.3㎡/1人 保育室・遊戯室(2歳以上児):1.98㎡/1人 → 今の2～3倍にするなど、密になる状態を避けることができるように。
- 園の定員規模 全国的に平均的な利用定員は100名を超えています。園の規模としてはせいぜい60名ぐらいまでが理想だと思うのですが…。その点、うちの園の定員は今がちょうどいいと感じています。
- 保育時間 標準が11時間は、子どもにとって長すぎると感じています。世の中の働き方の見直しと共に夕方4時から5時ごろにはすべての家庭がお迎えに来ることができるぐらいが理想では？

などなど…。

いずれにしても、「以前の形に戻す」ことを考えるのではなく、「新しい形を創り出していく」ことに力を注いでいかななくてはならないと考えています。



登園自粛期間中は子どもの数が少ないので、密集、密閉、密接を避けるため、外やテラスで食事をしたり、お昼寝も間隔を空けて布団を敷くなどして感染予防に心掛けています。

